

プロジェクト その他

項目 休止中の専門委員会の解散について

1. 現在、16の専門委員会を設置しているが、そのうち以下の6つの専門委員会については「休止中の専門委員会」としている。以下のとおり、長期間開催されておらず、解散することとしてはどうか。

専門委員会名	最終開催日	解散の理由
財務諸表表示	平成 22 年 8 月 6 日	IASB のプロジェクトへの対応及びコンバージェンス・プロジェクトの一環として活動してきたが、現在は ASAF 会議における意見発信との関係で ASAF 対応専門委員会において、対応を図っている。
引当金	平成 22 年 2 月 24 日	過去にコンバージェンス・プロジェクトの一環で活動していたが、当面、活動の見込みがない。
無形資産	平成 21 年 11 月 13 日	過去にコンバージェンス・プロジェクトの一環として取り組んでいたが ¹ 、当面、活動の見込みがない。
排出権取引	平成 23 年 1 月 31 日	我が国の排出量取引への対応を中心に取り組んできたが、当面、活動の見込みがない。
国際対応	平成 21 年 11 月 13 日	過去に IASB の公開草案への対応などを行っていたが、現在は、個別の専門委員会等において対応を図っている。
基本概念	平成 18 年 10 月 20 日	現在、概念フレームワークについては、IASB への対応を行っているが、ASAF 会議における意見発信との関係で ASAF 対応専門委員会において、対応を図っている。

以上

¹ 専門委員会を休止した後、親委員会における議論は継続し、昨年6月に「無形資産に関する検討経過の取りまとめ」を公表した。